

一般（代表）質問通告一覧表

令和6年第4回笠岡市議会定例会

6月17日・18日（2日間）

通告者	質問事項	質問の要旨	答弁者
1 創政みらい 天野喜一郎	1 市長の所信 表明について	市長の所信表明の中の3本柱について、財源に関係なく基本的方策と取り組む時期について尋ねる。 (1) 「暮らしをささえる」のうち、全市民の移動手段確保について具体的に尋ねる。 (2) 「まちを整える」のうち、臭気対策、市民病院建替えについて尋ねる。 (3) 「子どもをまもる」のうち、4つの無償化、学校再編の見直しについて尋ねる。 (4) 三つの柱を支える政策として、市職員の職場環境改善の中で、ハラスメント条例の取組について尋ねる。	市長 " "
	2 財源の確保 について	(1) 市長所信表明の中、三つの施策の実現に必要な財源の確保について尋ねる。 (2) いつの時点で市長所信表明の三つの施策実現に向けた取組が可能となるか尋ねる。	関係部長 "
2 讃志会 山本 聡	1 笠岡の新しい時代をつくる	現政権下、子育て支援のための少子化対策法案が成立し、「異次元の少子化対策」に取り組む政策が実行に移されようとしている。本市では栗尾新市長就任に際し、持続可能な行財政を標榜し、その公約で掲げられた重点施策の実現に向けて、世代を問わず暮らしやすさを実感できる新しいまちづくりが始まった。 (1) 公共交通の見直しとともに年齢を問わず全市民が使える移動手段を確保するとしています。既存サービス(つるかめタクシーチケット制度他)との整合性をとった、自家用有償旅客運送などの新しい制度の導入を検討しているのか尋ねる。	市長

	<p>2 地域を変えるデザイン</p>	<p>(2) 「まちを整える」として干拓の臭気対策に取り組む方針が今春施行されたが、行政が関与する臭気対策の実効性について、当該事業者との密な情報交換及び全庁を挙げての対策を講じる体制づくりが求められている。その着地点(臭気減衰)はどこか尋ねる。</p> <p>(3) 「子どもをまもる」として、放課後児童クラブ費、学校給食費、高校生等までの医療費、二人目以降の保育費の4つの無償化を掲げられている。段階的な導入など、実現可能なサービスからの実施でよいのではと考えるがどうか。</p> <p>(4) 笠岡市立市民病院における産科医の確保、産後ケア、院内助産制度や助産師訪問の助成制度の導入について尋ねる。</p> <p>笠岡市として、初めての女性市長の誕生により、従来の目線にない多様な意見を反映できるチャンスが到来した。消滅可能性都市との指摘は、将来の出産女性比率の低下を危惧したメッセージと受け止め、県下自治体では取組が始まっている。NPO法人ハナラボ(東京都)が取り組んでいる、女子学生の能力を引き出し、情報発信しながら就職機会を育むという活動を参考に、本市でも女子学生に特化したインターンシッププログラム等を推奨する。</p> <p>(1) 女子学生のインターンシップ受入等について、市内事業所との連携を考えているか尋ねる。</p> <p>(2) 離島における出産世代の女性減少問題等の解決に向けて、女子学生と行政とが共に取り組む施策を実施できるか尋ねる。</p> <p>(3) 女子学生を中心としたワークショップの開催等、同世代の共感が得られる取組を本市が主体となって運営できるか尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
--	---------------------	---	---

<p>3 むすびの会 真鍋 陽子</p>	<p>1 「子どもをまもる」について</p>	<p>(1) 学校規模適正化，就学前教育・保育の見直しについて今後の具体的なスケジュールを尋ねる。</p> <p>(2) 全ての子供に個別化された最適な学びと協働的な学びを育むとする「令和の日本型学校教育」を本市においてどのように実現していくのか，具体的なプランやスケジュールについて尋ねる。</p> <p>(3) 岡山県教育委員会は 2023 年度以降，県立高校のうち 1 年生が 100 人を下回る状況が 2 年続けば統廃合の対象， 2 年連続で 80 人未満となった場合は生徒募集を停止すると規定している。</p> <p>笠岡工業高校においては 2023 年度が 99 人， 2024 年度が 96 人となり， 100 人未満の基準が適用となる。先日，岡山県立高校の再編を巡り県内市町村長有志でつくられた「県立高校の在り方を考える会」の初会合が開かれたが，そこでは「統廃合の対象となっている笠岡工業高校に関する直接的な意見や要望はなかった」と新聞報道があった。</p> <p>本市は笠岡工業高校の統廃合についてどのように捉えているのか，今後何らかの対応を考えているのかを尋ねる。</p> <p>(4) こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として，令和 5 年 4 月 1 日に「こども基本法」が施行された。本市においては平成 24 年 12 月 27 日に三島紀元市長のもと「笠岡市子ども条例」が公布され，その中に「笠岡市に住む子どもが心豊かに成長することは，すべての市民の願いです。大人は，子どもの権利条約に基づき，子どもの最善の利益を第一に考えます。」と書かれている。</p>	<p>教育長 関係部長</p> <p>教育長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長</p>
--------------------------	------------------------	--	--

	<p>2 「暮らしをささえる」について</p>	<p>子供は「守られる」存在であると同時に権利の主体でもある。</p> <p>今後の行政運営において、権利の主体でもある子供たちの意見をどのように反映させていくのかを尋ねる。</p> <p>(1) 市長が重要施策と位置付けている「全市民の移動手段の確保」をいかに実現していくのか、今後の具体的なスケジュールと財源を尋ねる。</p> <p>(2) 本市においては、現在障害児の移動支援事業において、小学校、中学校、高校への送迎、スクールバスのバス停までの送迎は利用できないが、県内他市、県外では利用できる自治体もある。</p> <p>今後利用が可能になる見通しはあるのかを尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>関係部長</p>
	<p>3 「まちを整える」について</p>	<p>(1) 道路の穴、ひび割れや水路の冠水、公園施設の異常や災害情報などの通報が可能な「笠岡市民通報システム」により、市民はスマートフォンなどから笠岡市に直接通報できるようになっているが、市民に対する周知は十分にできているのか。また、利用状況を尋ねる。</p> <p>(2) 交通事故多発地帯の把握や事故未然防止のための現場改善をどのように行っているのかを尋ねる。</p> <p>(3) 笠岡市立市民病院の建替えについて、市長に新たな考え、具体的な方針はあるのかを尋ねる。</p> <p>また、笠岡市内に出産できる医療機関が無くなったことを危惧するたくさんの方が届いている。</p> <p>市民病院での出産再開を本格的に目指していくのかを尋ねる。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>市 長</p>

		<p>(4) 市役所庁舎は災害時に市民の安全を守る防災拠点として重要な役割を担う施設でもあるが、昭和31年に竣工し、もうすぐ70年が経過する。老朽化が激しく平成25年実施の耐震診断では耐震性能が低いとの結果が出ている。</p> <p>建物のコンクリート強度が不足しているため耐震補強工事もできない状況であり、令和元年度、新庁舎検討プロジェクトチームが立ち上がっている。</p> <p>南海トラフ巨大地震の発生確率は10年以内では30%程度、30年以内では70~80%であり、本市においてもできるだけ防災・減災対策を行うことが急務である。本庁舎建替えについてどのように考えているのかを尋ねる。</p>	市 長
4 いぶき 妹尾 博之	1 市長の施政方針について	<p>2014年5月に日本創成会議(座長：増田寛也)が「消滅可能性都市」リストを発表してから10年経った。</p> <p>2024年4月24日に人口戦略会議から最新のデータに基づき、地方消滅可能性のレポートが公表された。</p> <p>本市は、今回も「消滅可能性都市」という結果だったが、岡山県内では瀬戸内市をはじめ、いくつかの自治体が消滅可能性都市からの脱却を果たしている。</p> <p>若年女性の減少率が高く、また、少子・高齢化が急激に進む本市の現状は大変厳しい環境におかれていると考える。</p> <p>市政推進のリーダーとして、市長としての考えを尋ねる。</p> <p>(1) 本市が持続可能な都市を目指すためのビジョン及び市政運営の基礎となる考えを尋ねる。</p>	市 長

		<p>(2) 本市のホームページの「市長の部屋」コーナーで市政運営の重要な施策として「全市民の移動手段の確保」「干拓地の臭気対策」「放課後児童クラブの充実」の3点が記載されている。</p> <p>実現に向けたそれぞれのロードマップについて尋ねる。</p> <p>(3) 市民病院の建替え、JR笠岡駅南口の整備と橋上化、金浦中学校ブロックでの施設一体型小中一貫教育校の建設等、今後大きな財政負担が伴う大型事業が計画されている中で、財政の健全化と財源の確保が急務と思われるが、現在の財政状況及び今後の財政運営について尋ねる。</p> <p>(4) 国営笠岡湾干拓事業負担金の債権管理の事務処理について、その後の状況について尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
5 公明党 齋藤 一信	<p>1 水道料金の在り方について</p> <p>2 笠岡市立市民病院について</p>	<p>令和3年2月笠岡市上下水道事業運営審議会による水道料金の在り方について、「市民に安心・安全で安定した質の高い給水サービスを継続して提供するために、今後必要となる施設更新費用の原資や災害等に備えるための適切な水準の内部留保資金を確保すべきとの意見がある。一方で、水道料金の引き下げ、料金体系見直しの意見もある。こうした意見を広く踏まえながら、水道料金のあり方を継続して検討されたい。」とあります。</p> <p>今後の笠岡市の水道料金の在り方・値下げについて本市の考えをお尋ねします。</p> <p>(1) 笠岡市立市民病院の産科医療体制について、岡山県井笠地域の医療機関で唯一妊婦の分娩を担っていた産婦人科医院が昨年12月末で閉院し、それに伴い、出産できる医療機関がなくなりました。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

		<p>本市では、市民病院の産婦人科が2018年に分娩を休止しております。</p> <p>今後、安心して子供が産める産科医療体制の立て直しが急務になります。本市は、笠岡市立市民病院の産科医療体制を整えるべきと考えますが、今後の本市の考えをお尋ねします。</p> <p>(2) 笠岡市新病院基本計画によると、総病床数は99床。新病院の延床面積は6,630平方メートル程度を想定しています。新病院棟と既存南棟を渡り廊下にて接続する計画となっています。概算事業費(建築工事費)は約37.5億円。坪単価約168万円(税別)となります。</p> <p>激しく物価高騰労働単価高騰が進む中、各地の公共施設建設においてスライド条項の適用が起こっている昨今、笠岡市立市民病院の建築費単価は果たして適正な単価なのでしょうか。</p> <p>今後の市民病院建設に向けての課題や見直し点があるか、本市の考えをお尋ねします。</p>	市 長
	3 笠岡湾干拓事業について	<p>(1) 干拓臭気対策について、今後の本市が目指す方策をお示してください。</p> <p>(2) 笠岡市農道離着陸場について、本市は岡山県から譲与を受ける方針に変わりないか考えをお示し下さい。</p> <p>(3) 干拓負担金徴収基準の見直しについて、干拓負担金の回収は、元金さえ払えば延滞金の徴収はしないという方針のままなのか考えをお示してください。</p> <p>(4) 本市は今年の春に笠岡湾干拓地にある道の駅笠岡ベイファームをリニューアルする考えを示しました。</p>	市 長 " " 関係部長

	<p>4 教育行政について</p>	<p>山陽新聞によると、「利用者が多く駐車場や飲食施設が手狭になっているとして、施設拡張で集客力の強化を図る。2027年度中の完成を目指し、今後計画を具体化させる。」としていますが、本市の考えをお示しください。</p> <p>(1) 小中一貫校の整備について、選挙後、市長は現在、金浦地区で計画している施設一体型小中一貫教育校の整備を一時停止する考えを報道に示されました。</p> <p>市と教育委員会が考える今後の見通しをお示しください。</p> <p>(2) 令和元年12月定例会において、本市は竹喬美術館について「余りに多額の赤字が発生している。」とその運営状況を問題視しました。当時竹喬美術館の自己収入割合は5%程度となっており、決して他の美術館と比較して高いものではありませんでした。</p> <p>市長、教育長、館長が新しく変わった今、本市が目指す竹喬美術館についてお尋ねします。竹喬美術館は美術館に市場原理を持ち込むような方向に向いていくのか、全ての人々に開かれた非営利の社会教育機関としての立場でいくのか。お考えをお示しください。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>担当部長</p>
	<p>5 寺間遊水池太陽光パネル設置許可について</p>	<p>寺間遊水池の太陽光パネル設置許可についての本市の考えをお示しください。</p>	<p>担当部長</p>
	<p>6 一般廃棄物について</p>	<p>(1) 本市の一般廃棄物の越境処理に伴う搬入の基準についてお尋ねします。</p> <p>(2) 今後のごみ袋の有料化についての考え方についてお示しください。</p>	<p>担当部長</p> <p>〃</p>